

2010年度卒業論文発表会プログラム

—生物環境学科 地域環境科学講座—

日時：2011年2月18日(金) 8時50分～17時45分 場所：301講義室
 報告方法：15分(発表12分、質疑3分) (予鈴：10分、本鈴：12分、終鈴：15分)

番号	時間	発表者	分野(研究室)	発表題目
8:50～ 9:00 開会				
1	9:00～ 9:15	伊藤 健吾	演習林(小野寺)	月山偽高山帯域に分布するアオモリドマツ小林分の積雪環境と更新形態
2	9:15～ 9:30	今泉 雄大	計 画(小 沢)	だだちや豆のマーケティングに関する研究-パッケージに着目して-
3	9:30～ 9:45	大築 拓馬	計 画(家 串)	大学における太陽光発電利用の経済的評価について-東北の大学を事例に-
4	9:45～10:00	小澤 峻	河 川(大久保)	スリットダム上流部の流木の流下と滞留
5	10:00～10:15	川又 綾乃	生 態(小 山)	庄内海岸クロマツ林におけるニセアカシア根萌芽稚樹の分布を基にした発生要因の考察
6	10:15～10:30	熊谷 篤	農 地(石 川)	転換畑地におけるメタン動態の長期的なメカニズムと放出抑制効果
休 憩				
7	10:45～11:00	乗田 和志	農 地(石 川)	新型汎用化水田における水管理がN2Oガス放出量に与える影響
8	11:00～11:15	黒沼 友実	計 画(小 沢)	廃校利用を通じた地域活性化-山形県村山市山の内地区と金山町谷口地区との比較-
9	11:15～11:30	小杉 訓広	地 理(岩 鼻)	だだちや豆が地域経済に与える影響-鶴岡市を対象に産業関連表を用いて-
10	11:30～11:45	佐々木 賢哉	生 態(小 山)	ニセアカシア種子の休眠打破に対する繰り返しヒートショックの効果
11	11:45～12:00	佐藤 福夏	演習林(小野寺)	育林放牧における放牧区の面積縮小と分割の効果
12	12:00～12:15	鈴木 博之	地 理(岩 鼻)	山形の昔話にみられる妖怪の地域による名前と姿の違い
昼食休憩				
13	13:00～13:15	清野 陽介	生 態(小 山)	ブナに対するウエツキブナハムシの被害程度と開花頻度の関係 -防御と繁殖のトレード・オフ-
14	13:15～13:30	高橋 良和	演習林(小野寺)	「森の学校」における地域性を生かした教育プログラムの実践と環境教育の定着性の評価
15	13:30～13:45	鶴巻 なつ美	計 画(小 沢)	山形県を対象とした消費量に見合った野菜の生産についての考察-地産地消の観点をふまえて-
16	13:45～14:00	仁科 裕介	河 川(大久保)	山形県戸沢村土地改良区の水利に関する現状と課題
17	14:00～14:15	野田 武寛	生 態(高橋教)	ウエツキブナハムシの食害によるブナの枝葉・冬芽への影響について
18	14:15～14:30	野村 征宏	生 態(高橋教)	ブナ二次林における個体の胸高断面積成長の予測
休 憩				
19	14:45～15:00	萩原 智恵	河 川(大久保)	丘陵地における農業用水のポテンシャルエネルギー -山形県戸沢村土地改良区の事例-
20	15:00～15:15	畠山 耕太郎	生 態(高橋教)	多雪地においてスギ人工林が無間伐で成林する可能性
21	15:15～15:30	半田 幸	地 理(岩 鼻)	鶴岡市中心市街地の活性化に関する考察-鶴岡まちなかキネマを核として-
22	15:30～15:45	樋川 祐輝	計 画(家 串)	マイバック利用と環境意識・行動の関連について-鶴岡市を事例に-
23	15:45～16:00	平間 ひとみ	河 川(大久保)	山形県におけるカワネズミの分布及び生息環境に関する研究
24	16:15～16:30	丸山 由季	演習林(小野寺)	山地に造成した水辺ビオトープにおける出現生物の種組成
休 憩				
25	16:45～17:00	水野 菜々子	地 理(岩 鼻)	トキの保護に関する考察-山形大学生を対象とした意識調査から-
26	17:00～17:15	柳谷 拓実	農 地(奥 山)	山形県七五三掛地区地すべりに関する風化状態について
27	17:15～17:30	黒澤 智史	生 態(小 山)	シーズナルギャップ下における光環境とブナ稚樹の成長
28	17:30～17:45	柴野 広大	農 地(石 川)	独立栄養型脱窒菌の共生関係と制限要因に関する一考察
17:45～ 講評・閉会				

☆ 休憩時間以外は入退室禁止(報告者といえども途中の入退場はできない)。

☆ 2、3年次生は各回(休憩から休憩まで)ごとに入場時に出欠カードを受け取り、番号、氏名を記入して退場時にボックスに入れること。